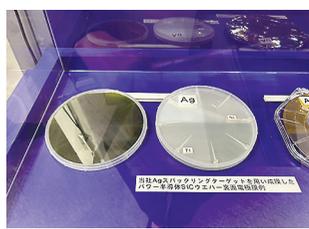


レビュー 第1回「九州」半導体産業展

(下)

9月25〜26日の2日間、第1回「九州」半導体産業展が福岡市のマリメッセ福岡B館で開催された。大盛況の展示会の様子を詳述する後編では、半導体周辺産業にスポットを当てる。本展示会には、設計・製造装置、設備、ソフトウェア、部品、材料、検査など幅広い分野の企業が九州内外



から出展し、様々な製品展示やデモ行われた。展示会場では、半導体市場の拡大を受けて活況な九州地域での事業強化を進める企業の出展が多

く見られた。例えば、貴金属のリサイクル事業を展開する松田産業(株)は、半導体材料の製造や電子部品などに使用される貴金属を各メーカーから回収してリサイクルし、貴

金属加工物として販売。また、貴金属インゴット、めっき薬品やチャンバーパーオセス、パッケージングロセス用材料など幅広く展開している。カーボン

貴金属グループが、産学官連携の人材育成コンソーシアムである「九州半導体人材育成等コンソーシアム」に参画しており、今回の出展でも九州エリ

員によると「学生の来場が多く、九州での半導体産業の盛り上がりや学生にも広がっている印象を受けた」という。

タキロンシーアイ(株)グループで福岡県八女市に本社および工場を置くタキロンポリマー(株)は、得意とする各種産業用樹脂

性や耐熱性に優れ、フッ素材の代替として提案しているポリメチルペンテン材も紹介した。ほかにも、導電性を持たせた材料を紹介。静電対策が必要な用途向けで、搬送トレイや工程内部材などに用いられている。同社は2016年に第2工場を

九州の活気取り込み図る関連企業

次回は規模拡大し来場1万人目標

ニュートラルに関する取り組みが増えていることなどを受けて引き合いが拡大しており、今後、九州地区にも力を入れる。その一環として、営業拠点とは別に北九州市内で土地を取得済みで、製造拠点の設置などが検討されているという。

アの事業強化に向けて現地顧客の取り込みに意欲的な姿勢を見せた。メーカーの車載用途に加え、半導体製造装置向けや電子部品関連も強化したいとしている。さらに、採用面での期待も強く、説明

素材を紹介した。良好な加工性や寸法安定性が評価されており、半導体製造装置向けではコータージェネレーターなどを中心に、配管、バルブ、継手といったパーツに採用されている。また、耐薬品

増設したが、半導体関連投資の拡大によってフル生産の状態が続いており、今後の需要動向を見ながら、さらなる増強を検討する方針だ。

そのほか、九州に本社を構える平田機工(株)や、

た」といった声や、「顧客との新たな接点ができ」といったポジティブな意見が聞かれた。一方で、スペースの都合上、展示できる製品が限定されたことや、初回ということもあり、来場者の客層が手探りだった点から、次回以降は集客のための工夫が必要だと述べた企業もあった。

次回の第2回「九州」半導体産業展は、25年10月8〜9日に開催予定で、今回のマリメッセ福岡B館だけでなく、隣接するマリメッセ福岡A館も加え、出展者数は500社、来場者数は1万人を目標に掲げる(同時開催の第1回「九州」次世代物流展を含む)。A館は空間容積が大きく、大型展示物の展示にも対応できるため、今回ネットワークとなったスペースの制約をクリアし、より多彩な企業や製品の出展が期待できそうだ。

(副編集長 中村剛/日下千穂記者)

(この稿終わり)

